

■研修内容	
コース名	産学官連携、変化の時代に地域で稼ぐ産学官の「ものづくり」とは？
対象者	自治体関係者、地場産業、地域連携を行いたい企業、団体
日程・時間数	随時開催、約12時間
研修実施場所	オンライン・対面
受講費用（定価）	1人当たり40万円
受講レベル	入門
最小催行人数	10名

■研修カリキュラム				
回数	時間	レベル	学習内容	実践内容
1	3	入門編	地域活性概論・課題解決型	<p>【オンライン】</p> <p>①地域活性のキーワード 15分 ②課題解決とは？ 15分 ③事例紹介 10分 ④産学官の実行スキーム 10分</p> <p>【オンラインワークショップ】 説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <p>①対象地域を検討し課題を定義する ⇒地域再生計画、地場産業の課題抽出方法 ②実行体制を考える ⇒どんなプレイヤーを巻き込むべきか？ ③ストーリーと啓発を検討する ⇒社会的意義と持続可能な設計の検討</p>
2	3	入門編	顧客視点・売れるものづくり【顧客視点】	<p>【オンライン】</p> <p>①デザイン思考によるものづくりとは？ 15分 ②既存の技術やプロダクトを進化させる手法 15分 ③環境や時代を読む方法 10分 ④販路を考える 10分</p> <p>【オンラインワークショップ】 説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <p>①既存の特徴を分解 ⇒商品サービスの特徴を分析しどこを伸ばすかを検討する ②進化させてみよう ⇒進化思考をベースに商品を様々な形に進化させる ③買いたくなる理由を設計しよう ⇒ただ、ほしいではなく、背中を押すダメ押しの一語を考える</p>
3	3	入門編	顧客と商品価値を共創する【環境の変化への対応】	<p>【オンライン】</p> <p>①サービスでモノを売る考え方とは 15分 ②お客様に価値をつくってもらう手法 15分 ③コミュニティの考え方 10分 ④市場を育てるアプローチ 10分</p> <p>【オンラインワークショップ】 説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <p>①商品を通じて作りたい価値の定義 ⇒商品を必要とする理由、商品が生み出す価値とは？ ②お客様が作る価値とは？ ⇒自分がどのような価値を足していくのか考えよう ③だれと使う、使いたいサービス、商品か？ ⇒紹介したい理由、一緒に使いたい理由を設計する</p>
4	3	入門編	都市と地方の連携によるイノベーション【異業種連携】	<p>【オンライン】</p> <p>①少子高齢化が進む地方で実証する意義 15分 ②農林水産・一次産業の未来 15分 ③デジタルを活用した新たなトレンド 10分 ④地域創業と市場開発とは 10分</p> <p>【オンラインワークショップ】 説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <p>①デジタル技術を使って伸ばせる領域を理解 ⇒リアルな地方の産業が生かせるデータや体験とは何か？ ②地方に持続可能な連携、交流を作るためには？ ⇒どんな企画、コミュニティを目指すべきか？ ③商品、サービスを通じた地域活性とは？ ⇒「体験」を「経験」にするスキリングアプローチ</p>